



# 大阪大学の研究方針

# Ground Plan

基本

大阪大学の新世紀  
2008年11月

地域に生き 世界に伸びる

ときめき

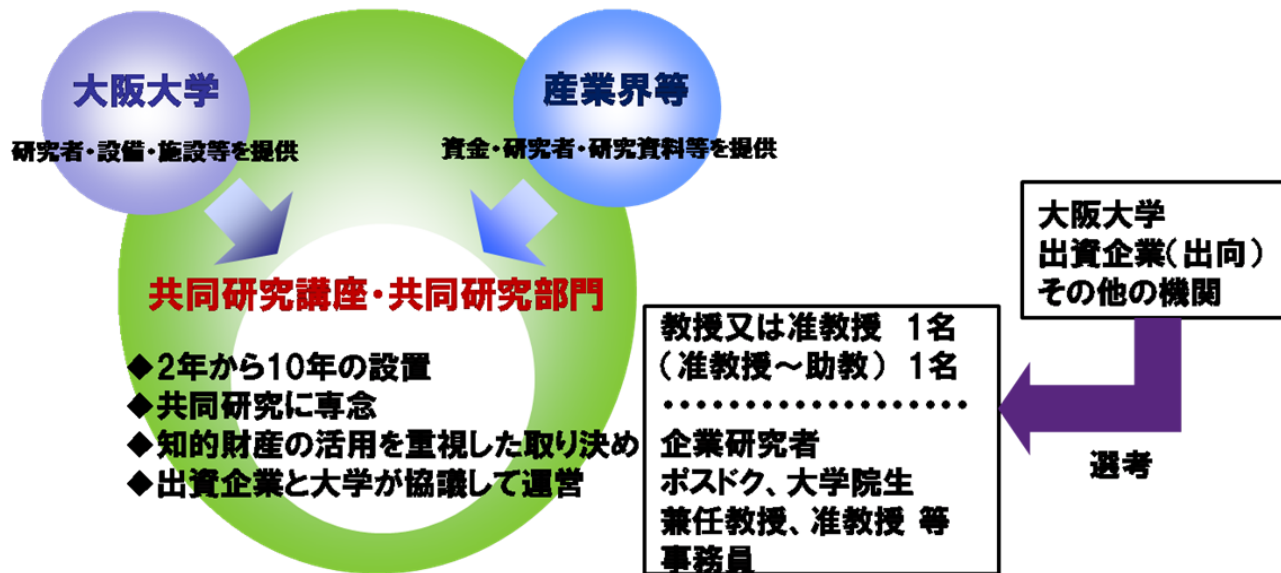


責任

# 大阪大学の産学連携

## 産学連携・社会貢献「共同研究講座」

Industry on Campus構想を実現する新しい産学連携方式



平成22年4月現在、25講座・部門を設置、  
総額33.2億円の研究費を獲得。

## 大阪大学テクノアライアンス棟 (平成23年4月予定)



### 産学連携環境での人材育成への挑戦

- 実践的な人材育成の場をキャンパスに
- 社会とのミスマッチを解消
- 学生・若手研究者の積極的な交流を

### 多様な人材育成手法



# 大阪大学の取り組み

## 大型教育研究プロジェクト支援室の設置

研究者が研究に集中するため、大型プロジェクト研究の運営を支援

## チャレンジ支援プログラム

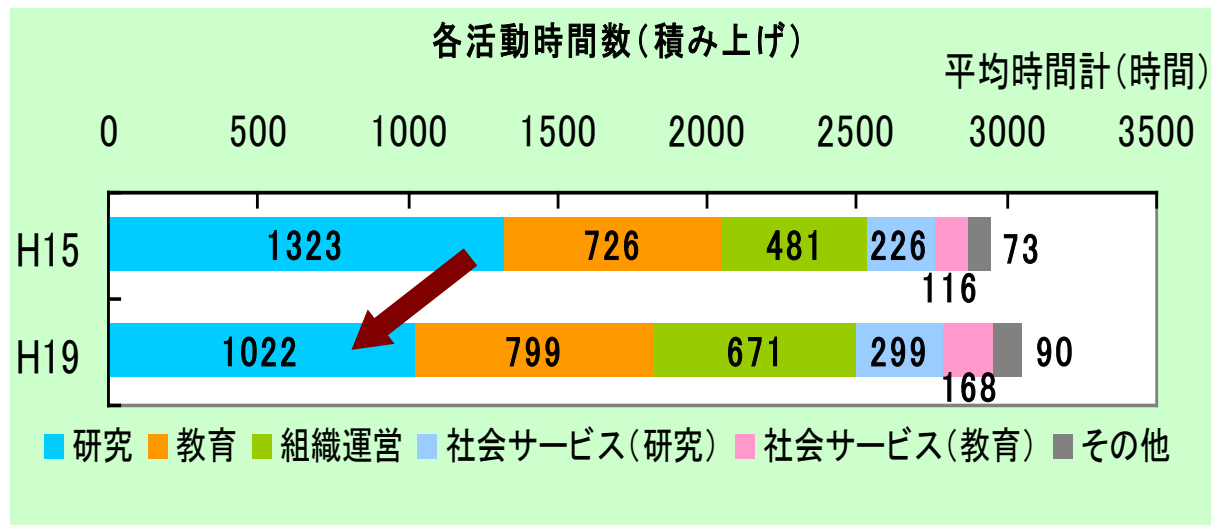
大型研究費に挑戦し、不採択の場合、つなぎの研究費を支弁

## 最先端ときめき研究推進事業

ときめきをもって最先端の研究を行う若手研究者に研究費を支援

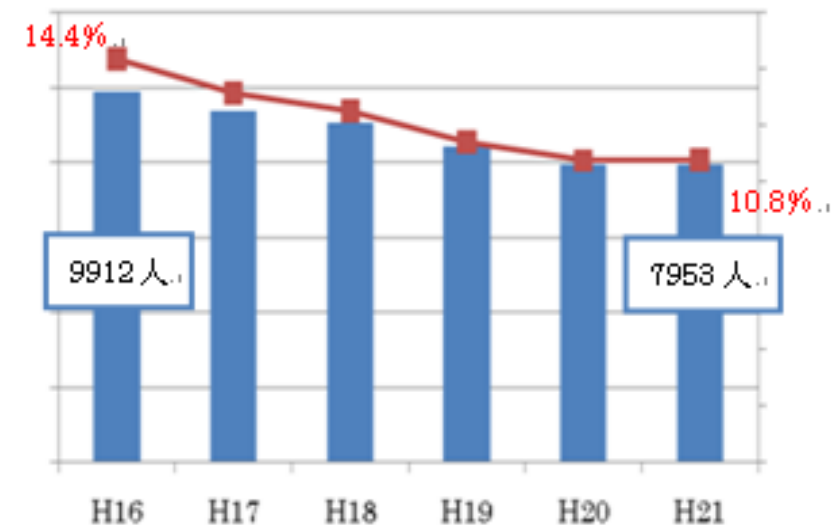
# 研究者は忙しく、博士学生の進学数減

教員の研究活動の時間数は、大幅に減少



[科学技術政策研究所 NISTEP REPORT No.122 日本の大学に関するシステム分析により作成]

博士(後期)課程への進学者の推移



[学校基本調査(文部科学省)により作成]

- 研究者が「ときめき」をもって研究に専念できる環境づくりが必要
- 大学院学生に対する経済的支援が必要